

平成 30 年 10 月 18 日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 一宮市向山町1丁目10番地4

団体名 一般社団法人インクルーシブのわみ

代表者 職・氏名 代表理事 宝満正一

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	WAIWAI のわみー(無料塾と子ども食堂)		
2 事業の分野 〔主たる分野を一つ 選択し、○で囲ん でください。〕	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他()	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護
3 支援金交付申請額	880,000円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	1,320,000円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	1,320,000円
当該事業によって得られる収入 (c)	0円
支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方	880,000円

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	一般社団法人インクルーシブのわみ		
市内事務所の所在地	〒491-0869 一宮市向山町1丁目10番地4		
代表者職・氏名	代表理事 宝満正一		
設立年月	H28年 4月	構成員の人数	40人
U R L	https://www.138npo.org/info/group/index.php?group_id=381		
連絡先	(担当者氏名) 鈴木美雪		
※この申請に関する問合せに対応できる方	電 話	0586-72-9697	F A X 0586-72-9698
	E-mail	nowami38@yahoo.co.jp	
団体の目的	当法人は、生活困窮者若しくは障害者又は事故、災害若しくは犯罪による被害者の支援、高齢者の福祉の増進並びに勤労意欲のある者に対する就労の支援に寄与することを目的とする。		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂 ・無料塾 ・地域活動支援センターのわみ ・地域活動支援センター向山 		
主な活動の実績	<p>H28年9月16日～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂・無料塾 毎週土曜日 17時～19時 <p>H28年11月1日～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センター向山 毎日 9時半～16時半 <p>H29年8月1日～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センターのわみ 毎日 9時～16時 <p>H30年9月9日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流しそうめんイベント <p>H30年9月15日～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WAIWAIのわミーⅡ 無料塾 毎週土曜日 13時～16時 		
今年度予算額	15,000,000円	昨年度決算額	16,574,674円
条例第2条第3項に掲げる要件について	<input checked="" type="checkbox"/> すべて満たしている <input type="checkbox"/> 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有（補助金等の名称： _____ ） <input type="checkbox"/> 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>一般社団法人インクルーシブのわみ</p>
<p>事業の名称</p>	<p>WAIWAI のわミー(無料塾と子ども食堂)</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間（準備期間や後処理期間も含めてください） H31年4月1日 ～ H32年3月31日</p> <p>(2) 実施場所 ①一宮市向山町1-10-4(フードバンク倉庫2階会議室) 毎週土曜日 13時～16時 ②一宮市本町4-12-21(地域活動支援センターのわみ) 毎週土曜日 17時～19時</p> <p>(3) 受益対象者 一宮市内の子ども達とその家族また地域の参加者(年齢制限なし)</p> <p>(4) 実施体制 ①では50人位まで受け入れが可能。スタッフは必要に応じて増員する。教師役は現役大学生から社会人、元教員等。 ②では30人位まで受け入れが可能。 スタッフは必要に応じて増員する。教師役は現役大学生から社会人、元教員等。料理は市民や子どもの家族等に参加してもらう。 食材はできるだけ市民やスーパーからの寄付とフードバンクを活用して行う。</p> <p>(5) 具体的な内容 <無料塾> ① (13時～16時) 静かな環境で、受験勉強や宿題、自習など学習の遅れを取り戻したい子ども達に自ら学ぶ学習支援の場を提供する。希望する子どもにはマンツーマンでの学習指導も行う。休憩時間にはおやつと飲み物を提供する。また、場所が相談所の隣であり、フードバンク倉庫も1階にあるので親御さんの生活全般の相談や支援も同時に行う。また希望者が増えるようであれば、午前10時～16時の開催とし、昼食の提供も行う。 ② (17時～18時) 子ども達の中には不登校・親の貧困・ADHD等の理由で十分な学習ができていないので、子ども達が集中して学習に取り組むことができるように。マンツーマンで学習指導をしていく。</p> <p><子ども食堂>18時～19時 子ども達が勉強している間、食事を作るボランティアスタッフとその家族が工夫して調理し、食事の準備をする。食材はできるだけフードバンクやフードドライブで支援された食材を生かす。子ども食堂は無料塾と連動しているが、食事だけの参加や、地域の高齢者や祖父母のボランティア参加もできるようにし、開かれた子ども食堂にする。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>事業の振り返りと評価の仕方として、初めのアセスメントから、成績、進路、学校との関係、あいさつ、言葉使い、マナー、友人関係、心と体がどのように成長しているかを観察し、必要に応じてスタッフ会議を開いて個々の情報を共有し、問題があれば、学校と連絡を取り合い、解決に向けて考える。精神的成長や社会的自立に向けて、進学支援などの適切な支援ができるようにする。</p> <p>子どもたちがいろいろな友達や家族、スタッフに接し、最も多感な子ども時代を豊かに過ごすことができるように、子ども達の希望に沿うように生きる力と学力を伸ばしていく。</p>				
<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p>平成 28 年 9 月から WAIWAI のわミーを行い、子どもの健やかな成長には、多世代交流、家族ぐるみの参加、遊ぶ、学ぶ、経験するなどの必要性がよくわかった。子どもの貧困は経済的な貧困だけでなく、多面的であり、それを解決できるのが WAIWAI のわミーであると自負している。</p> <p>そもそも子どもの貧困とは親の貧困であり、親の貧困の解決無くして子どもの貧困解決はありえないのであるが、子どもの貧困解決に光を当て、子どもに手厚い支援をすることで、親の負担が減って、解決につながることもわかってきた。</p> <p>現在スクールソーシャルワーカーの先生達や学校の先生達の協力も得られるようになってきたので引き続き 31 年度も無料塾と子ども食堂を実施したい。また、WAIWAI のわミーは「あいち子ども食堂ネットワーク」の正会員であり、幹事も引き受けており、その中で、子ども食堂専用のフードバンクとしての役割や新しく子ども食堂を始める団体の中間支援の役割も果たしているので、31 年度も学習支援に重点を置きながら、多世代交流や遊びの経験が豊かにできる子ども食堂をめざしていきたい。</p> <p>また、子どもの貧困解決に向けて、貧困家庭の生活全般に対する問題を総合的に解決していくことが必要である。</p> <p>子どもは日々成長するので 1 日も早い支援が有効である。子どもは社会の宝である。未来のある子ども達の能力を最大限に引き出せるように社会で子ども達の成長を育てていきたい。</p>				
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>子ども食堂と学習支援については、非課税世帯の子ども達を対象に事業を行う予定なので、受益者負担は求められない。</p> <p>当事業は公益性が非常に高いので、寄付金で運営ができるようになるまで、公金負担をお願いしたい。</p>				
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="459 1697 646 1749">時期 (月)</th> <th data-bbox="646 1697 1402 1749">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="459 1749 646 2051">H31. 4 月 ～ H32. 3 月</td> <td data-bbox="646 1749 1402 2051"> <p>*参加者の募集(常時)</p> <p>*学習支援と子ども食堂の実施</p> <p>生徒の希望に応じて、毎週土曜日 13 時～16 時と 17 時～18 時の間、学習に集中する。18 時～19 時は子ども食堂として楽しく食事をして、レクリエーションを楽しむ。また、食事の後も引き続き学習したい子ども達には学習支援を行うなど子ども達の実情に応じて支援を展開する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	時期 (月)	内 容	H31. 4 月 ～ H32. 3 月	<p>*参加者の募集(常時)</p> <p>*学習支援と子ども食堂の実施</p> <p>生徒の希望に応じて、毎週土曜日 13 時～16 時と 17 時～18 時の間、学習に集中する。18 時～19 時は子ども食堂として楽しく食事をして、レクリエーションを楽しむ。また、食事の後も引き続き学習したい子ども達には学習支援を行うなど子ども達の実情に応じて支援を展開する。</p>
時期 (月)	内 容				
H31. 4 月 ～ H32. 3 月	<p>*参加者の募集(常時)</p> <p>*学習支援と子ども食堂の実施</p> <p>生徒の希望に応じて、毎週土曜日 13 時～16 時と 17 時～18 時の間、学習に集中する。18 時～19 時は子ども食堂として楽しく食事をして、レクリエーションを楽しむ。また、食事の後も引き続き学習したい子ども達には学習支援を行うなど子ども達の実情に応じて支援を展開する。</p>				

備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 (片面印刷) とする。

備考 2 ページ数は 2 ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 一般社団法人インクルーシブのわみ

事業の名称 WAIWAIのわミー(無料塾と子ども食堂)

収入

科 目	金額 (円)	内 訳
一宮市支援金	880,000	
事業収入	0	
自主財源	440,000	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 ()
計	1,320,000	

支出

科 目	金額 (円)	左記のうち 支援金算出額 (円)
報償費	1,080,000	1,080,000
旅費		
印刷製本、消耗品費	240,000	240,000
食糧費		
通信費、手数料		
備品費		
人件費		
使用料、賃借料		
その他		
計	1,320,000	1,320,000

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※1
	支援金算出額 (円)	
報償費	1,080,000	学習指導員@30,000円/月×3人×12ヶ月=1,080,000円
	1,080,000	
旅費		
印刷製本、 消耗品費	240,000	食材費等@20,000円×12ヶ月=240,000円
	240,000	
食糧費		
通信費、 手数料		
備品費※2		
人件費		
使用料、 賃借料		
その他		

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを（ ）書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000円×5h×2人=10,000円 (@900円×5h×2人=9,000円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。